

釧路市社会教育推進計画

第1次(令和5年度)実施計画

評価結果

評価の目的と方法

1. 評価の目的

釧路市教育委員会は、下記事項を目的に「釧路市社会教育推進計画（以下「計画」という）」の評価を行っています。

1) 計画推進に向けた事業の現状・課題の認識と改善

釧路市の社会教育を計画的に推進するため、各種事業が計画に沿ったものかどうか、事業実施の手段や進め方が正しいかどうかなどを、実施結果や推進方法等の点検により、成果や現状、課題を認識するとともに、見直しすべきものは見直しをしながら、後年度の事業計画へ反映させるものです。

2) 職員の意識改革

社会教育委員による計画の評価は、「常に市民は関心を寄せている」という、行政職員一人一人の意識改革につながり、よい意味での緊張感が保たれ、目的をもった事業の展開が期待できます。

3) 市民への説明責任の遂行

計画の評価を市民に公表することで、行政の透明性を高め、市民の視点に立った事業の推進が図られます。

2. 計画推進のプロセスと評価方法

計画は、Plan（計画）⇒Do（実行）⇒Check（評価）⇒Action（改善）の「PDCA」サイクルを基本に策定されています。しかし、予測不可能な時代（VUCA）に対応するには、部署や事業内容によっては「AAR」サイクルがマッチする場合もあるため、「PDCA」にとらわれることなく、状況に合わせてブラッシュアップした事業の企画立案や実施、評価が必要となっています。

【VUCA】

Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・
Ambiguity(曖昧性)の頭文字

【AAR】

Anticipation(見通し)・Action(行動)・Reflection(振り返り)
の頭文字

★実施計画の評価は、本計画を策定した社会教育委員が、計画の「施策の方向」及び「基本方策」が達成されたかどうかを、それぞれコメントにより評価しています。

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント	
1	(1) 人権尊重の取組の推進	「いじめ」「DV」「児童虐待」等の人権を踏みにじる行為を、「許さない」「隠さない」「見のがさない」という意識を醸成します	いじめ問題総合対策事業	教育支援課	○SNSによるいじめの深刻化、闇の深さが指摘される中、特に学校における情報の扱い方、モラルに関する教育（保護者も含め）の推進が求められる。地域・関係機関とのさらなる連携、活動の見える化を進める工夫も必要と考える。 ○スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーのさらなる配置・活用。家庭（ひとり親等）への支援が肝要。家庭・学校・職場等でのSOSを見逃さないシステム構築と運用が必要と考える。 ○「人権尊重」の理解を深めることは、個人の権利を守るとともに、社会の安全・安心にもつながるものである。社会の多様化が進む中、個人の解釈も多様・多面的になっており、人権問題を考えるには、年代に合わせた具体的な取組を継続して行う必要があると考える。 ○人権は人間が生まれながらにして持っている権利であり、弱者に対して一方的に暴言や暴力で制圧する行為は、人間尊重の精神を養ったり、社会常識を身につけたりする学校や会社等で生じている。子どもがいじめの場面に遭遇しても、見て見ぬふりをするのは、教師と子どもたちの間に良質な人間関係ができていない可能性がある。 ○スクールカウンセラーは、不登校児童生徒や保護者が学校に不信感を抱かないよう意思疎通を図っている。 ○課題に向けた講演会、委員会等の実施・取組を評価し、「施策の方向」は達成されているものとする。	
			DV・虐待防止			
			DV・虐待防止	こども支援課		
			女性保護事業			
			児童虐待対策事業			
	誰もが参画できる平等な社会づくりの取組や人権を侵害された方への相談・支援体制の充実など、人権尊重の取組を推進します	社会を明るくする運動	教育支援課			
	虐待防止センター事業	障がい福祉課				
	(2) 互いに認め合う取組の推進	性の多様性を理解するための啓発に努めるとともに、発達障がい等障がいについての正しい知識と理解を深め、当事者や家族への相談等支援体制の充実に取り組めます	ノーマライゼーションの学習	生涯学習センター（生涯学習課）	教育支援課	○「パートナーシップ」制度の導入が図られてはいるが、LGBTQに関わる理解をさらに進める工夫が必要と考える。 ○精神科不足は改善されず、児童生徒をもつ保護者が相談できる医療体制が厳しい現状の中、より行政の支援が必要と考える。 ○障がいのある子どもへの支援については、特に家庭支援が肝要であり、相談体制、実のある支援の推進が求められる。また、関係機関、地域の連携がさらに進められることも必要と考える。 ○さまざまな事業が実施されているが、その活動が効果的に伝えられることが必要で、SNS等の情報発信をさらに進めてほしい。 ○「防災会議」での女性の参加が少なく、災害対策に関わる女性の割合の少なさが懸念される。 ○人権尊重の理念を基に互いを認め合うには、互いの違いを知ることが必要である。性の多様性や男女の違い、障がいなど、他者の身になるためには多くの知見を基にその取組の工夫が必要と考える。 ○社会の発達障がいへの認識は十分ではないが、以前、保育園の行事に出席した際、発達障がいと思われる子に対し、周囲の子どもたちの目は温かく、誰に対しても同じく接していた。人間尊重の精神を養うには早ければ早いほど良い。 ○課題に向けた講演会、委員会等の取組を評価し、「施策の方向」達成されているものとする。
			研究センター研修「特別支援教育の充実Ⅰ」			
			研究センター研修「特別支援教育の充実Ⅱ」			
特別支援教育の実施						
障がい福祉サービス事業所販売会			各施設指定管理者（スポーツ課）			
男女平等の視点に基づいた家庭・地域における教育の推進や多様な学習機会の充実など、男女平等参画の意識を高める取組を行います		マタニティ講座	健康推進課			
		釧路市男女平等参画審議会の開催	市民協働推進課			
		女性団体の育成、指導				
		「くしろ男女平等参画プラン」推進事業				
		道外派遣事業				
男女平等参画に関する情報の提供						
男女平等参画センター管理運営事業						
くしろ男女いきいき参画表彰						
社会教育委員のコメント	<p>○「人権」は一人一人のものであり、他者の人権を侵してはいけない。また、自身が自己の人権をしっかり意識し、社会生活を行うものとする。</p> <p>○自他を守るという意識の中で、社会生活を担う一員としての市民意識を醸成することが基本であり、「他人事」ではなく「自分事」として捉え対応することが根幹と考える。</p> <p>○「人は人としてよりよく生きる権利」があり、いじめ、差別、虐待等は許されざるものである。市民一人一人を大切にするためには人権教育の施策をさらに進める必要があると考える。</p> <p>○「人権」に対して、その理念を正しく理解することはとても重要であり継続した取組を望む。</p> <p>○学校・地域・家庭・職場において、人権問題を自身の問題として捉え、互いの人権を尊重する意識を身につけ、「差別のない社会の実現」の取組に今後も期待する。</p>					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
2 家庭・地域教育の充実	(1) 親の学習機会の拡充	ア 家庭や子育てのあり方について学ぶ講座や学習会等を開催します	家庭教育支援チームの運営・活用	教育支援課	○「リフレット」の活用方法として、SNS等の紙以外での発信の工夫を進めていただきたい（講座等内容の発信も含めて）。 ○保護者の困りごと、相談しやすい体制づくりの推進が必要と考える。 ○「ニーズ」を調査し、それに対応した取組の工夫や、体験を重視した事業内容の検討・実施を図ってほしい。年齢層の絞り込み、発達段階に応じた取組は評価できる。 ○地域の特性を生かしつつ、地域と連携した事業の推進をお願いしたい。 ○保護者間のコミュニケーションやネットワークを図る取組が必要と考える。 ○さまざまな講座や学習会があり、参加人数にかかわらず評価できる。また、啓発リフレット等の配布もあり、一定の成果があると判断する。子どもの数が減少する中で事業は大変ではあるが継続していただきたい。 ○共稼ぎ世帯が多く、保護者が日々の生活に追われているのが現状であり、主催者の努力にもかかわらず、参加者が少ないのは理解できるが、子どもに対する保護者の理解力は向上しない。学習活動によって、子どもの成長への理解や学校への信頼感が生まれてほしい。 ○親子で創作に取り組む姿は、テレビでたびたび拝見するが、和やかな雰囲気で大変よい機会だと思う。 ○親の学びを促進する取組を今後も続けていくこととし、釧路市の施策の方向は一定程度達成されているものと考え。
			家庭教育講座「ほわっと」		
			新入学児童保護者説明会「子育て講話」		
			家庭教育支援事業「教育講演会」		
		イ 親子で参加できる体験活動や講座など、親子のふれあいや子育ての楽しさを知る機会を提供します	市民学園講座「子どもチャレンジ」	生涯学習センター（生涯学習課）	
			親子教室	こども遊学館（生涯学習課）	
			夏休み親子土器作り教室	博物館	
			おそなえもちをつくろう		
			公民館講座（親子体験教室）	阿寒生涯学習課	
			親子映画会	音別町ふれあい図書館（音別生涯学習課）	
			自然ふれあい事業	音別町青少年健全育成推進協議会（音別生涯学習課）	
			ア ホームページやリフレット等により、子育てサークルの活動や講座・学習会等の情報を提供します	ホームページ等による各施設情報公開	
		家庭教育支援チームによる情報の提供		教育支援課	
		イ SNSや身近な環境の場での、子育てに関するアドバイスや相談等の支援、情報交換ができるネットワークづくりを進めます		市民学園講座「子育て応援講座」	
児童館を活用した子育て親子の居場所づくり	こども育成課				
地域子育て支援拠点事業					
利用者支援事業					
児童館母親クラブ事業					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
2 家庭・地域教育の充実	(3) 地域コミュニティの活性化	地域学校協働本部と地域住民が連携した学校づくり、地域づくりに努めるなど、学校を核とした地域コミュニティ機能の向上に努めます	放課後子どもチャレンジ教室	教育支援課	○本来のコミュニティカールを目指す上で、地域のコミュニティ機能の向上が図られているかを検証しながら実施する必要がある。風通しのよいコミュニケーションの中で地域と学校が互いに生きるものであってほしい。人材の確保・発掘は肝要であり、今後の成果を左右するものとなるので支援が大切である。 ○地域コミュニティ機能は必要なことだが、町内会活動等が減少していく中で、関係団体と連携した事業の取組を充実させたことは成果があったことと評価する。 ○学校は率先して地域とのつながりをもうとしており、これに町内会がどのように支援できるかが課題である。一方、町内会の役員は元気な子どもたちから活力をもらいたいと願っている。 ○施策については一定程度達成されているものとする。
			コミュニティスクール活用推進事業		
			地域学校協働本部事業		
			学校・教育支援ボランティア		
		町内会等の自治組織の活性化を図り、人と人とのつながりをつくるとともに、見守り合い、支え合う意識の向上に努めます	地域うるおい学習推進委員会運営助成	教育支援課	
		釧路市子ども会育成連合会単位子ども会への支援			
	(4) 地域が子どもを育てる取組	あいさつ運動や声かけ運動など、子どもが安全・安心に暮らせるよう、地域全体で子どもを見守る体制を整えます	すずらん運動	阿寒生涯学習課	
			子ども110番の家	青少年育成センター	
			釧路市地域子育て力強化事業	子ども支援課	
		企業や各種施設等と連携を図り、釧路市全体で子どもを育て見守る体制を整えます	子ども110番の店	青少年育成センター	
どさんこ・子育て特典制度			こども育成課		
	地域児童健全育成事業				
社会教育委員のコメント	<p>○地域ボランティア（町内会活動を含めて）の高齢化等による支援体制が厳しくなっている。</p> <p>○ヤングケアラー等の対応が喫緊の課題であり、「地域の力」がこれからの地域、日本を左右すると考える。「自助・共助・公助」のバランスを含め、市民がそれぞれに家庭、地域を担っているという意識をもつことが必要であり、社会教育がその人たを背負っていると認識しており、その事業施策は重要である。企業、自治組織、各団体等との望ましい連携をさらに進める必要がある。</p> <p>○家庭教育に熱心な保護者は、子どもとともに、さまざまな講座や学習会に参加できるが、そのような機会がない子どもたちのサポートをどのようにしていくかが課題ではないか。地域全体で子どもたちを見守って行けるのが理想である。</p>				

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅰ 互いに認め合う共生社会の実現

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
3 青少年の健全育成	(1) 体験学習機会の充実	ア 多様な社会体験・自然体験等の体験学習を通じ、社会性や生きる力を育む取組を進めます	市民学園講座「まなぼつとわくわく体験隊」	生涯学習センター(生涯学習課)	○参加したくなるような魅力ある事業(講座等)の工夫や情報の発信に努めてほしい。保育所、小・中・高・大、地域、企業との連携をさらに進めてほしい。 ○「インターシップ」は、小・中・高・大で実施され、発達段階における自己の職業観の育成に貴重な体験学習となるものであり、市P連、市商連等、共催事業のさらなる拡大発展や地域、関係機関とのさらなる連携により推進していく必要があると考える。 ○さまざまな体験学習があり、楽しく学べたのではないかと。「赤ちゃんとふれあい体験」は人への愛情や命の大切さをあらためて知る良い取組であり継続していただきたい。 ○体験学習機会の充実は一定の成果があったと考える。 ○施策については一定程度達成されているものとする。
			図書館司書業務体験機械の提供	図書館(生涯学習課)	
			宿泊体験学習	阿寒生涯学習課	
			チャレンジスクール		
			図書館のおしごと体験	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	
			赤ちゃんとのふれあい体験事業	教育支援課	
			くしろ子どもインターンシップ事業「チャイルド1 DAY・仕事一日体験」		
			職業体験事業「くしろキッズタウン」		
			地域スポーツ・文化キッズクラブ	各施設指定管理者(スポーツ課)	
	イ 不登校等悩みを抱える子どもたちが、宿泊体験等の集団生活等を通じ、人間関係や社会的スキルを学べる場を提供します	不登校学級宿泊研修支援	教育支援課		
		不登校児童生徒宿泊研修			
	(2) 次代を担う子どもの育成	ア 「子どもミーティング」や「少年の主張」、郷土愛を育てるための学習会など、子どもの健やかな成長を願う全学的な取組を進めます イ 他都市の青少年との文化・スポーツ交流等を通じ、互いの郷土の理解を深めるための活動機会を提供します	「釧路市子どもミーティング～Let's THINK&ACT～」	教育支援課	○「アイ文化」に関わる他都市の青少年交流や、「アイ」の連携、台湾の少数民族との交流も必要と考える。 ○「アイ民族」に関する人権教育との関わりもあり、真の意味での郷土理解、郷土愛の醸成を図る必要がある。 ○世代間交流や「少年の主張」は、子どもたちの思いや考えを知る良い機会であり、今後の取組に生かしてほしい。 ○施策については一定程度達成されているものとする。
			「少年の主張」釧路市大会	教育支援課	
			青少年交流事業「出水市ツル交流」	各施設指定管理者(スポーツ課)	
	(3) 子どもの成長に向けた支援	ア 関係機関・団体との連携のもと、子どもたちへの的確な助言・指導、関連情報の周知・啓発に努め、子どもの健全な育成に向けた取組に努めます	地域イベント巡回活動	音別町青少年健全育成推進協議会(音別生涯学習課)	○地道な啓発活動、警察や他機関との連携が肝要である。また、悩みや問題を抱える子どもとその親への支援体制の充実を図っていただきたい。 ○「ファミリーサポート事業」の相談支援及び登校支援が0件であり、困難を抱えている子どもや保護者はゼロではないと思うが、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーがその役割を担っているのであれば、ファミリーサポート登録されている方々の活躍の場がないように思える。事業の見直しや改善、工夫が必要ではないか。 ○子どもの抱える問題は多様であり、関係機関との連携を基に組み立てる必要がある。施策については一定程度達成されているものとする。 ○関係機関や専門家との協議、連携を図ることはもちろんだが、根本的な家庭環境、家庭教育の充実が必要と考える。
			広報誌による啓発活動	教育支援課	
			釧路市青少年問題協議会		
青少年健全育成団体への支援					
有害環境浄化活動の推進			青少年育成センター		
非行や不審者等の情報提供による啓発の推進					
補導活動の推進					
イ 「釧路市ファミリーサポート事業」等による、悩みや問題を抱える子どもや親への相談・指導体制の充実を図ります		教育相談体制の充実	教育支援課		
		釧路教育研究センター教育相談	教育研究センター(教育支援課)		
	釧路市ファミリーサポート事業	青少年育成センター			
社会教育委員のコメント	<p>○中・高・大(専門学校含む)の生徒・学生の力を活用する事業の展開は、子どもたちの自己有用感を醸成し、また、地域に対して興味・関心を高め、ひいては「釧路愛」を培う土壌となる可能性が高いため、事業の検証・分析をし、実のあるものとして工夫・改善を図っていただきたい。</p> <p>○青少年の健全育成には、さまざまな分野からの協力が必要であり、将来を担っていく子どもたちに必要不可欠となっている。学校での教育と地域で子どもを育てる意識を、住民一人一人に根付かせる社会づくりが必要であり、さらなる取組に期待する。</p>				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
1 多様な学びの場の提供	(1) ニーズにこたえる学習機会の提供	ア 興味・関心をもてる参加しやすい内容の講演会やイベントを開催します	生涯学習フェスティバル	生涯学習センター(生涯学習課)	○積極的に事業が実施されていることは評価したい。その中で、博物館講演会の参加者数に変動が見られるのが気になる。周知方法がホームページ等に限定し、情報が入らない市民が多いのではないかと。さまざまな事業をSNS等複数のルートで周知するべきと考える。 ○音別町の子どもたちは、博物館やこども遊学館に行く機会がなかなかないのが、ふきまつり等地元イベントに、遊学館による天体観測会等が行われているのを目にする。地理的な学習機会の差を解消するのは困難だが、こうした取組を積極的に行っていたらと思う。 ○音別町には高品質の天体望遠鏡があるので、理科の授業等でより積極的に活用し、子どもたちにたくさん興味をもってもらいたい。 ○令和5年度は新型コロナが感染症5類に移行されたことで、年齢問わず多くの市民が主体的な学びが大いに実践されたと思う。これまでのオンライン対応とは違い、知的好奇心のある分野においては自身が赴きリアルに体験できたこと、また、子どもから大人までが等しく学びの向上が図られていたことは大変素晴らしい。同時に、この成果は各主管課の事業計画と運営の努力と充実があったからこそと敬意を表す。さらには、こども遊学館や博物館をはじめ、ホームページが見やすく興味をもちやすくなるよう工夫されており、Facebook・Instagram・YouTube・Xという多様なSNSにより情報展開され、かつ、各SNSとホームページを連動させることで相乗効果を生み出している点も大変評価できる。以上により以前からの回復は勿論、コロナ禍を経たアップデートも随所に見られることで「施策の方向」は達成されたものと考えている。今後も引き続き市民ニーズに応えた充実した学びが深まる事業に取り組んでいただきたい。
			季節行事	こども遊学館 (生涯学習課)	
			宇宙の日イベント		
			サイエンスショー		
			太陽観測会		
			天体観測会		
			企画展示事業		
			巡回展「移動博物館」		
			博物館講演会		
			特別展・企画展の開催		
		イ 誰もが参加しやすく学びやすい参加型の学習や学び直し(リカレント教育)のための講座や教室を開催します	遊びんピック	こども遊学館 (生涯学習課)	
			サイエンステーブル		
			自然工作工房		
			工作遊び		
			工作教室		
			展示活用事業		
			実験教室		
			天文教室		
			伝承遊び		
			プラネタリウム通常投影会		
			プラネタリウム特別投影会		
			鑑賞会		
		室内大型砂場遊び			
		ウ 夏休みや冬休み等における学習活動として、多くの子どもたちが興味・関心をもてる参加しやすい講座や教室を開発します	ゴールデンウィークイベント	こども遊学館 (生涯学習課)	
			春休み企画		
			夏休み企画		
			冬休み企画	美術館	
各種イベントの実施					
まが玉を作ろう					
子ども学習支援					
化石・地質講座	博物館				
子ども工作教室					
エ 多様化する市民ニーズや今日的課題に対応するため、社会教育施設がもつ機能を活かした学習機会を提供します	生涯学習まちづくり出前講座	生涯学習課			
	施設間の連携事業の実施	文化(社会教育)施設			
	図書館行事「見学ツアー」	図書館(生涯学習課)			
	サイエンスルーム事業	こども遊学館 (生涯学習課)			
	校外学習支援				
	天体観測学習				
	出張天体観望会				
	学校教育への支援	博物館			
	体験学習センター(こころみ)各種主催事業	音別町体験学習センター (音別生涯学習課)			

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅱ 主体的な学びの推進

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント		
1 多様な学びの場の提供	(2) 豊かな人生を後押しする講座の提供	年齢、障がいの有無にかかわらず、多くの市民が教養や趣味の域を広げられ、生きがいや目標を見つけられる講座、教室を開催します	くしろ市民大学	生涯学習センター (生涯学習課)	○博物館の学芸員展示解説は好評であるが、参加人数をさらに増やすようにしてほしい。 ○映像アーカイブ上映会の周知を行ってほしい。 ○多種多様な企画を用意しているが、参加者が少なかったり、同じ参加者だったりもつらいと思う。興味をもった人が気軽に参加できるなどの解決策があれば良い。 ○阿寒地区では、シニア世代が興味関心を持ち、向上心を高められる色々な講座が実施され、マンリ化防止にも努めており評価できる。 ○年齢別人口は将来推移を鑑み、現在、団塊の世代を含め高齢者人口はピークであると想定される。また、釧路市ではシニア層の長期滞在者が多く、これらの点からも本施策の重要性をあらためて感じる。 ○各施策において、生きがい・目標の発見やICT等のデジタル活用への現代的課題解決に向けた講座、釧路の歴史・文化への理解と関心を深める講座など、充実した学習活動機会の提供・充実化が大いに図られており、多くの市民の参加のもと評価も高いことから「施策の方向」は達成されたものと考えている。		
			市民学園講座「いきいき女性講座」				
			市民学園講座「まなぼつとシニア講座(わくわくセカンドライフ)」				
			成人楽集	こども遊学館(生涯学習課)			
			阿寒シルバード大学	阿寒生涯学習課			
		音別町高齢者学級「音老大学」	音別生涯学習課				
		社会教育講座					
		ICT等デジタル活用に関する知識や技能を深める内容の講座や教室を開催します	ICTに関する講座の開催	生涯学習センター (生涯学習課)			
		地域の歴史や文化、自然、産業等を学べる内容の講座や教室を開催します	ウ			地産地消の取組	生涯学習センター (生涯学習課)
						市民学園講座「釧路学教養講座」	
市民学園講座「ライフアップ講座」							
郷土講座	図書館(生涯学習課)						
映像アーカイブ上映会	博物館						
博物館学芸員トーク							
学芸員展示解説							
釧路産業史講座							
釧路歴史講座							
学校と釧路市中央図書館が連携した「学校ブックフェスティバル」等の事業を実施し、子どもの読書意欲の向上と読書習慣の形成を推進します	イ	図書館資料の充実や図書館バスの運行に加え、釧路市PTA連合会や釧路市連合町内会等諸団体と連携した全市民的読書活動イベントの開催など、子どもたちが多くの本に出合える機会の充実に努めます	子ども読書活動の推進	図書館 (生涯学習課)			
			釧路市中央図書館「調べ学習コンクール」				
			図書館資料の充実	図書館 (生涯学習課)			
			図書館バスの運行				
			おはなし会				
			移動図書館バス「よむよむ」の運行	阿寒生涯学習課			
			親子イベント	音別町ふれあい図書館 (音別生涯学習課)			
			ふれあい図書館資料の貸出				
社会教育委員のコメント	(3) 子どもの読書活動の推進		○図書館の積極的な活動を評価したい。除籍本の電子化を進めてほしい。 ○中高生が学習できる公的な場が増えたらよいと思う。中央図書館学習室やMOO広場の机の数は限りがあり、ｽｶﾝやﾌﾞｰｸｺｰﾄ、ｺﾝｶﾞ等は長時間居られない。子どもたちが無料で自主学習できる場所の確保、各分館図書室の整備とともに子どもへの周知を願う。 ○子どもの読書習慣の定着は学習成果の向上につながり、かつ豊かな思考と人間形成が図られる。故に子どもの読書活動を活発化するために、低年齢時期から家庭で読書活動が行われ、学校、図書館等でもさまざまな取組がなされることが大事であると考える。 ○新型コロナウイルスが感染症5類に移行されたことで、感染対策を講じながらも対面での事業実施が多くの地域関係者と連携しながら多く開催できている。また、中央図書館が開催しているピリオバトルは子どもたちの興味関心が強く、主体的に本・読書に向き合えるとても良いイベントであると評価する。釧路市が推進する子ども読書活動推進計画を具現化すべく多様な取組が行われていることを評価する。				
			○学びの場は提供できている。しかしながら、場を提供するだけでは不十分で、いかに多くの人々を巻き込むことができるかが重要になる。受け手がちな人が多いと思われるので、いかに彼らを学びの場に向かわせ、地域社会の発展につなげるかが課題となる。				
			○さまざまな講座を企画・提供しており、基本方針は推進されているものと評価する。				
			○多様な学びの場の提供にあたっては、方策（施策・事業）の対象者である市民ニーズの把握から各事業において適切な学びの場の提供と、事業後の検証の実践により「基本方針」は推進されているものと評価する。				
			市民の皆様が学習で得る知識だけで終わるのではなく、得た知識が活かせる場の提供の充実もあれば、知識は見識へと昇華し、さらなる自己肯定感の向上が実現され、多様な学びがより活きるものとする。				

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅱ 主体的な学びの推進

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント	
2 学びの場の環境の充実	(1) 学びを継続するための情報の発信	ア 「生涯学習ハンドブック」やホームページ、SNS等により、各施設でのイベントや講座・教室の内容等の情報をわかりやすく発信します	「広報くしろ(生涯学習が"イ")」による情報提供	生涯学習課	○生涯学習ハンドブックが見やすくなった。 ○子どもたち、或いは保護者が求めていることを知るためにどうすべきか。また、改善したところなどは、PTA等と協力してできることは何かあるかなど、市民ニーズの把握は、参加した人たちだけではなく、参加していない、できなかった人たちの意見も大事である。 ○生涯学習ハンドブックでは、人材バンクの紹介や豊富な各活動の案内などわかりやすくまとめられている。「これから何かをはじめたい」という市民ニーズに適切に対応されると同時に、学習者が学習成果を地域に生かして活躍してほしいという施策の趣旨についても丁寧に示されている。 ○各事業ともにホームページのみならずSNSを積極的に活用するなど、市民へのアプローチに工夫があることで、多くの市民の参加と事業検証から、学びの継続に向けた成果を挙げられていることを評価する。	
			「生涯学習ハンドブック」の作成・公開			
			施設利用促進のための情報提供	文化振興財団(生涯学習課)		
			こども遊学館の情報発信	こども遊学館(生涯学習課)		
	(2) 施設・環境の整備	ア 安全・安心に学習できる社会教育施設をめざし、計画的に整備を進めます	生涯学習センター施設整備	生涯学習センター(生涯学習課)	○市民文化会館は老朽化が激しくなっている。札幌市のkitara規模までとはいわないが、建て替えを視野に入れ、全国ツアーなど多くの公演が実施できるよう願う。 ○子どもたちにもっと読書する機会を増やそう、本に興味をもってもらう、という釧路市の取組が活発になってきていると感じる。 ○白糠町図書館には大型絵本がたくさんあり、自由に手に取ることができる。できるだけ小さいころから本にふれる機会をもてるよう、年代別に細かく分析し、それぞれが使いやすい図書館の充実を図ってほしい。 ○阿寒町公民館図書室では、利用者のリストに対応しながら、各分野の新刊本を定期的に購入し、阿寒行政センター通信の記事により利用者へ情報提供するなど、充実した図書運営を行っており評価できる。 ○本基本方針(1)がソフト面であり、(2)はハード面であると捉える。大切な学びの場である各施設および環境の整備について、令和5年度は適切に進められており、ハードの充実化を図る本施策において達成されていると評価する。	
				市民文化会館施設整備		市民文化会館(生涯学習課)
				各施設のAED設置と心肺蘇生法等の応急手当講習会の受講		各文化施設
				図書館施設の補修・更新		図書館(生涯学習課)
				図書館ネットワークの推進		図書館(生涯学習課)
				阿寒町公民館施設整備		阿寒生涯学習課
		イ 情報拠点施設の釧路市中央図書館をはじめ、各種社会教育施設における資料やレファレンスの充実等環境整備を図り、多様な学習ニーズへの対応に努めます	図書館資料の提供	図書館(生涯学習課)		
			図書館の情報提供機能の充実	図書館(生涯学習課)		
			アイヌ文化映像コンテンツ更新	博物館		
			阿寒町公民館図書室資料の充実	阿寒生涯学習課		
対「基本方針」に	○環境を充実するのは良いが、「学びたい」と思われるようなしくみや環境がどの程度行われているのか、他の自治体を参考にしながら、学びに向かってもらう取組が必要。					
	○「これから何かをはじめたい」と考えている方への適切なアプローチ、また、初めて情報を目にした方が「これから何かをはじめたい」と考え、自らの興味関心に添えるような豊富なコンテンツがあることで、市民の学びへの参加と継続が大いに図られる土台が強固に構築されていると考える。本方針を達成するうえで重要であるソフトとハードを両輪とした施策運営と整備については、市民ニーズや事業検証をインプットとしながら有効にアップデートされている点も含めて基本方針は推進されていると評価する。					

釧路市社会教育推進計画 評価結果表

基本方針Ⅱ 主体的な学びの推進

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント	
3 成果を活かす学びの場の推進	(1) 人材発掘・育成とその確保	専門分野の指導を含め、社会教育施設等でのボランティアを育成するための講座や研修会を開催するとともに、知識や技術をもつ人材の発掘に努めます	ボランティア活動の学習	生涯学習センター (生涯学習課)	○30年前は、ボランティア事業が積極的に行われていた。30年前と比較してどこまで回復したか、データを出すことで課題が見えてくると考える。 ○人口減少に伴い、ボランティアの確保がむずかしく、一人何役ということも珍しくない。さまざまな団体への働きかけを積極的に行っていく必要がある。 ○人材発掘・育成とその確保に向け、各種ボランティア養成講習会や研修会が開催され、知識・技術を有する担い手を適切かつ有効に進められており、本施策は達成されていると評価する。	
			図書館ボランティア育成	図書館 (生涯学習課)		
			こども遊学館ボランティア研修	こども遊学館 (生涯学習課)		
		釧路市こども遊学館等の社会教育施設と高等教育機関等が連携を図り、学習活動支援のための担い手を育てる取組を進めます	こども関連施設・教育機関支援事業	こども遊学館 (生涯学習課)		
	高等教育機関支援					
	地域施設間連携事業					
	(2) 活かせる場の提供	自身の学習成果や特技等を発表できる場、学習者同士が交流できる場の確保に努めます	生涯学習人材バンク登録制度	生涯学習課		○生涯学習人材バンクの新規登録者が少なく、何らかの対応が必要と考える。 ○読み聞かせのボランティア活動が近年活発になってきていることは、計画が推進され、目的が達成されつつあるものとする。 ○阿寒町公民館図書室で開催している読み聞かせボランティアによるお話会や、阿寒小学校での読み聞かせ、公民館ホールでの読み聞かせイベントなど、工夫を凝らし、子どもたちの読書意欲向上を図るべく活動しており評価する。 ○学んだ方が、学習成果をもって主体的に活躍できる取り組みが有効に実践され成果を上げており、本施策は達成されていると評価する。
			こども遊学館ボランティア交流	こども遊学館 (生涯学習課)		
			特別展・私の博物館	博物館		
			博物館友の会との連携			
講座や学習会等で身につけたスキルを、ボランティア活動や地域貢献活動として実践できる場を提供します		こども遊学館読み聞かせボランティア「おはなし会」	こども遊学館 (生涯学習課)			
		阿寒町公民館図書室「おはなし会」	阿寒生涯学習課			
	ふれあい図書館「おはなし会」	音別生涯学習課				
社会教育委員のコメント	<p>○学びの場の推進も「場の提供」を第一に考えているように見える。釧路の夏のイベント等とコラボするなど、機会を設けることを重視してはどうか。</p> <p>○多様な学びの場があり、その環境の充実化が図られ、本方針により学習成果を活かせる場を提供することで、主体的かつ活動的な市民、釧路市を支えるアクティブシチズンが増加する。基本方針Ⅱが全体的に有効なストーリーと意志をもち、連動しながら展開されていることを高く評価している。</p> <p>○令和5年度の活動実践と成果により基本方針は有効に推進されたと評価する。</p> <p>○多様な学びの場に参加し、学んだ方が、学びをもとに、学びの輪と主体性が広がっていく素晴らしい方策を、今後も引き続き市民ニーズと事業検証をインプットし、アップデートされながら展開されることを期待する。</p>					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
1 自然を 生かした 活動の 推進	(1) 豊かな自然環境の保護と啓発	自然への理解や活動、希少な動植物の現状と課題等の情報を広く発信し、自然環境の保護意識を醸成します	博物館情報の発信	博物館	○新たな情報手段のSNS等を活用して情報発信し、自然環境の保護と啓発を伝えることは、今後さらに重要になると思われる。自然環境の保護については、諸機関の連携をさらに深めて進めていくことが望まれる。 ○情報の発信等は、効果が目に見えて現れないが、SNS等の手段を有効に活用することに重点をおきながら、色々な手段で発信してほしい。「希少動植物保護増殖」については、効果が見えなくても継続しなければならない事業である。 ○新型コロナウイルスの5類移行に伴い、再開された事業の成果が認められたことや、講座への市民の関心の高さ、受講者の満足度の高さ、SNSフォロワー数増加等、効果が十分みられ、「施策の方向」は達成できたと考え。インターネットやYouTubeチャンネル等を活用した情報発信も積極的に行っていただきたい。 ○動物園における他機関との連携協力による研究・調査に着眼した。地域独自の自然環境や動植物の保護等について、多様な研究機関と協働的に取り組むことで、新たな成果を得られることに今後も期待する。 ○2つの国立公園を有する釧路において、学術的にも価値のある希少動植物の保護及び調査・研究は大切な業務だと思う。特に、特別天然記念物や絶滅危惧種に指定されている野生生物の保護や環境の保全は高い評価を受けており、教育的な効果も大きいと言える。今後も精力的な活動と積極的な情報発信に努めていただくことを期待する。
			出前講座「動物園のお仕事」、「タンチョウ学び隊」	動物園	
			動物園情報の発信	動物園	
		国内外の関係機関との学術交流等を通じて、希少動植物の種の保存と保護増殖に取り組みます	キタサンショウウオの保護・調査研究事業	博物館	
			タンチョウ生息域外保全事業	動物園	
			野生タンチョウにおける感染症に関する調査事業		
			シマフクロウ生息域外保全事業		
	希少哺乳類の増殖事業				
	マリモの保護・調査研究事業	阿寒生涯学習課			
	(2) 多様な自然体験・学習機会の充実	身近な自然や特色ある気候風土を生かした、さまざまな学習機会の充実を図ります	自然観察会	博物館	
			自然観察会	子ども遊学館(生涯学習課)	
			春採湖畔いきもの観察会	博物館	
			こどもいきもの講座「キタサンショウウオ産卵観察会」		
			化石発掘体験学習	阿寒生涯学習課	
		自然や生きものとのふれあいを通じ、「いのち」の大切さを知り、他を思いやる「心の教育」の推進と釧路の自然を体験できる学習機会を提供します	サマースクール	動物園	
こども動物園					
「総合的な学習の時間」プログラム					
自然体験・観察の専門的指導者や施設案内ガイド等のボランティアの確保・活用に努めます		天文指導員養成講座	子ども遊学館(生涯学習課)		
	動物園ボランティア養成事業	動物園			
「基本方針」に対する社会教育委員のコメント	<p>○希少生物に日常的に接することができるなど、身近で豊かな自然はこの地域の財産である。この地方都市の利点を生かし動植物の保護等各種取組を市民とともに行うことが期待できる。</p> <p>○自然への理解を深める事業は、多岐にわたる終わりのない活動である。今後も市民ニーズを取り込みながら地道に事業展開してほしい。</p> <p>○これまでの取組については、成果も大きく、高く評価するに値するものである。さまざまな施策に対し市民から理解を得ることは、自然保護への意識の高まりにつながっていく。そのため、今後も引き続き啓発活動に尽力いただくとともに、多様な体験や学習機会の充実にも努めていただくことを期待する。</p>				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
2 文化・芸術活動の推進	(1) 芸術鑑賞機会の充実	ア 「広報くしろ」やホームページ等により、芸術鑑賞に関する情報を広く発信します	長期滞在者等へのPR	生涯学習課	○SNSや広報くしろ等で特集を組むなど、市民に広くPRする方法を考えてほしい。芸術鑑賞機会の確保・支援に関しては、今後も継続実施し市民に提供していただきたい。 ○増加傾向にある外国人観光客のために、外国語によるホームページの案内等は非常に重要と考える。ヨーロッパ等では、観光でその土地を訪れると必ずmuseumへ案内される。Pフレットや案内等の充実を期待する。 ○劇団四季の公演や札幌交響楽団のコンサートなど、大学生も毎年楽しみにしている機会である。市民が質の高いレベルの芸術鑑賞を生で体験できる機会と、そのための支援を行うことは大変重要であり、参加者（地元の方など）の芸術文化への意識も高まり、地域の文化教育力の向上も期待できる。 ○「広報くしろ」やホームページについては、内容も充実してきており、広く情報発信がなされているが、若年層はあまり目につく機会がないように思う。より多くの方々に情報が届くよう、時流に沿った工夫がなされることを期待している。
			外国語による案内表示	生涯学習施設	
		イ 幅広い領域の芸術を鑑賞できる機会の確保と、そのための支援を行います	文化振興助成	生涯学習課	
			道立釧路芸術館開催特別展の助成		
			芸術鑑賞事業	文化振興財団(生涯学習課)	
			特別展	美術館	
			常設展（グラ・コレ、プチ・コレ）		
			道展・釧路移動展		
			所蔵作品等巡回展事業		
			友好都市出水市文化交流事業		
	文化芸術団体の紹介				
	釧路市文化団体連絡協議会への支援				
	釧路市芸術祭への支援				
	展示会事業	文化振興財団(生涯学習課)			
	地域文化振興事業「発表機会提供事業」				
	釧路市文化団体連絡協議会阿寒支部への支援	阿寒生涯学習課			
	阿寒町総合芸術祭	実行委員会(阿寒生涯学習課)			
	釧路市文化団体連絡協議会音別支部への支援	音別生涯学習課			
	音別町総合文化祭	実行委員会(音別生涯学習課)			
	音別町郷土芸能保存会活動への支援	音別生涯学習課			
釧路市障がい者芸術作品展	障がい福祉課				
(2) 多様な文化芸術活動の充実	イ 学校、文化団体等が連携し、子どもたちが文化芸術にふれる機会の充実と活動を支える取組を促進します	各種講習会等開催助成	生涯学習課		
		全国・全道大会派遣・開催助成			
		学校での文化芸術活動の支援			
		地域文化振興事業「少年少女の芸術活動支援」	文化振興財団(生涯学習課)		
		アーツスクール事業	美術館		
		芸術劇場の開催（阿寒地区）	阿寒生涯学習課		
		芸術劇場の開催（音別地区）	音別生涯学習課		
	ウ 学校での文化部活動の地域移行を見すえ、子どもの文化芸術活動を支えるため、活動の環境充実に向け、学校と関係機関・団体等による体制構築に取り組みます	学校部活動の環境整備	生涯学習課 教育支援課		

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
2 文化・芸術活動の推進	(3) 地域・郷土文化の発展	ア 地域芸能等郷土の文化芸術の保存・伝承の取組を進めます	文化芸術による地域振興のための情報収集	生涯学習課	○郷土の文化芸術の保存・伝承は、地道に継続的に行っていかなければならない施策であり、今後も「地域性」を重視しながら実施してほしい。 ○郷土の文化芸術に関する情報収集、記録作成（デジタル化）、保存・伝承等（これらの内容の公開、発信なども）は非常に重要であり、多様な取組は大いに評価すべきと考える。次の時代へ正確な形で伝えていけることも考慮しつつ、このような事業がさらに継続していくことを期待する。 ○学校給食で定期的に取り組まれている「ふるさと給食」は、さまざまな工夫がなされていることが分かり、子どもたちからも概ね好評である。学校現場でも理解を深めるために、校内放送等で内容を説明したり、お便りやホームページで紹介するなど、「ふるさと給食」の意義を大切に引き継いでいる。使われている食材への意識をより高めてもらうためにも、生産者とのつながりが見えてくるとさらに充実した取組になると考える。
			釧路新書・叢書の発刊		
			郷土史のデジタル化	図書館(生涯学習課)	
			所蔵資料展	阿寒生涯学習課	
			阿寒町郷土資料所蔵室移動展示		
			郷土資料所蔵室事業		
			郷土芸能の保存・伝承		
			郷土芸能「踏まつり音頭」の伝承活動	音別生涯学習課	
			郷土資料の展示	音別町ふれあい図書館(音別生涯学習課)	
			学校給食（ふるさと給食）	教育支援課給食担当	
		イ 地元の芸術家や作家、文化芸術団体等の活動の支援と功績に対する顕彰を行います	釧路市文化賞・文化奨励賞	生涯学習課	
		郷土芸能保存活動への支援			
		郷土作家展	美術館		
ウ 郷土文学の発展のため、文学館を中心に文学作家の作品や資料の収集・保存・公開を行います	地域資料の公開	図書館(生涯学習課)			
郷土作家資料の整備	文学館(生涯学習課)				
釧路地域の文学紹介					
社会教育委員のコメント	○各種文化芸術団体の構成メンバーの高齢化や少子化による後継者不足、学校部活動の地域移行等々、文化芸術を取り巻く課題は山積しているが、文化芸術は人々に夢や感動を与え、まちの発展にも寄与するものであり、釧路市の文化芸術のさらなる高みに期待する。令和5年度の基本方針は達成されたものとする。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
3 文化財の保護・活用とアイヌ文化の保存・継承	(1) 文化財の保護と活用	ア 文化財である希少動植物の保護・増殖の取組と、そのための調査・研究、情報の発信に努めます	キタサンショウウオの保護・調査研究事業	博物館	○文化財の保護・活用については、限られた予算と人員で、多くの分野に及んで取り組んでおり、「施策の方向」は維持達成されていると考える。 ○文化財の保護・調査活動を、今後も成果の成否に関わらず、可能性を求め展開して欲しい。 ○市民と協働した活動では、参加者が少ない等の理由で中止した事業もあるが、継続して実施してほしい。 ○文化財を守り継承する取組や情報提供、学習機会の取組に関しては、貴重な文化財の重要性を知らしめるため施策の継続性が求められる。 ○地域独自の文化財の保護と活用については、すでにさまざまな調査・研究や情報発信等が行われ、大きな成果があり評価すべきだと考える。 ○文化財である希少動植物の保護活動については、学校現場における教材活用がさらに積極的に図られるようになる。社会科の副読本で学習したり、インターネットで調べたり、さらには、それらをまとめたりする活動も各校で行われているが、出前授業を充実させたり、ワイド授業等を実践したりなど、児童生徒の意識醸成につながる活動にも尽力いただきたい。
			春採湖のヒブナの保護・調査研究事業		
			NPO法人「タンチョウ保護グループ」との共同調査・啓発活動	動物園	
			タンチョウの保護・調査研究事業		
			傷病タンチョウの保護・収容事業		
			希少鳥類の保護・増殖事業		
		イ 文化財の保護・調査活動を市民と協働して取り組み、保護・保全意識の高揚を図ります	国史跡等探訪会	博物館	
			北斗遺跡復元住居補修等環境整備		
	国史跡釧路川流域チャシ跡群（ハルトルチャランケチャシ跡）整備				
	北斗竪穴まつり				
	ウ 関係機関との連携等地域一体で貴重な文化財を守り継承する取組を進めます	指定文化財の審議	博物館		
		文化財指定・登録に向けての取組			
エ ホームページ等による地域の文化財に関する情報の提供と文化財を活用する等の学習機会の充実を図ります	「文化財マップ」の活用	博物館			
	まちなか企画展				
(2) アイヌ文化の保存と継承	ア アイヌ文化を保存・継承する取組を促進するとともに伝承活動を支援します	春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会助成	生涯学習課		
		阿寒アイヌ民族文化保存会活動助成	阿寒生涯学習課		
	イ アイヌ語の伝承やムックリの演奏活動など、アイヌ民族の歴史・文化への理解を深めるため、学校等と連携した学習機会の拡充に努めます	アイヌ関連授業への支援（アイヌの歴史や文化に関する学習プログラム）	教育支援課		
		アイヌ民族の伝統的生活空間（イオル）の再生に向けた事業を推進し、アイヌ文化の保存と伝承を図るとともに、文化知見を伝承する取組を進めます	イオル再生事業の推進 高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業	生涯学習課	
社会教育委員のコメント	○コロナ禍以降、市民活動の担い手の高齢化が懸念される。従来どおりの保護育成活動は重要だが、新たな情報伝達の活用等により、若い世代の参加を促進する必要がある。 ○文化財については、「保護」が優先されるのは当然であるが、市民に対し、その存在や重要性を知ってもらうための施策を打っていく必要性を感じる。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント	
1 生涯スポーツを通じた健康の増進	(1) スポーツ参画人口の拡大	ア スポーツ活動を行うきっかけづくりとして、誰もが興味・関心をもてる講座や教室を企画・開催します	ジュニアソフトテニス教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	○さまざまな年代に向け、スポーツ活動のきっかけづくりとなる各種事業が行われ、参加者は、各種運動・スポーツに接した貴重な体験がスポーツ活動の継続につながっており、「施策の方向」は達成されているものと判断する。ただし、少子高齢化や社会状況の変化によりスポーツ人口が減少傾向にあり、今後も事業内容や開催時期等市民ニーズを考慮するとともに、広報活動等の工夫により参加者の増加に努めてほしい。 ○幼稚園や保育園、学校、スポーツ少年団等で積極的にスポーツに親しむことは、生涯スポーツの入口と言われるように、成人や高齢者になってもスポーツを続けられると思う。今後もスポーツ振興財団等を中心とする初心者スポーツ教室等の成果を生かし、各種教室の充実の中でスポーツが好きな子どもが増えればと考えている。 ○社会体育指導員が指導・育成してきた女性の健康体操サークルや、スポーツ推進委員が企画推進してきた高齢者向けの軽スポーツ・体力テストでは、日頃スポーツをする機会の少ない年齢層の参加が増えてきた。教育委員会や各施設が企画する各種教室・講座は、無料または安価な参加費で気軽に参加できる場であり、今後も継続してほしい。 ○釧路湿原マラソンは、全国各地から参加する歴史と伝統ある一大イベントである。旧市民運動会は、まちぐるみで企画・運営し、学校やスポーツ関係団体、ボランティアスタッフの協力のもと行われ、市民の参加が主であったが、現在は、全国的なイベントに育っており、今後もまちぐるみで大切にしたいスポーツイベントである。 ○高齢者や障がい者が参加できる教室、指導者や協力者に対する研修の充実は大切であり、今後も関係各課が連携しさらなる充実を期待する。また、軽スポーツ等の審判講習会の継続した開催、充実が望まれる。	
			パークゴルフ初心者初級実践教室			
			小学生初心者スケート教室			
			年長さんスケート教室			
			年長さんからのアイスホッケー教室			
			夜間初心者ソフトテニス教室			
			冬休みはじめてのスケート体験			
			フィギュアスケートワンポイントレッスン			
			短期水泳教室			
			エンジョイイベントの開催			
			無料水なれ教室			
			イ 体を動かす楽しさや爽快感を実感できる機会を提供し、スポーツの継続意欲向上を図ります			社会スポーツ指導員の派遣
		やさしいエアロとショートコンディショニング		各施設指定管理者 (スポーツ課)		
		幼児アスレチック教室				
		楽しく踊ろうヒップホップ～ダンスはコミュニケーションだ！～				
		リラクソヨーガ				
		ダイエットヨーガ				
		初中級エアロ				
		大規模運動公園「スタジアムフェスタ2023」				
		インファントクラス				
		ポッチャ教室				阿寒生涯学習課
		小学生水泳教室				各施設指定管理者 (阿寒生涯学習課)
		子ども水泳教室				音別生涯学習課
		子どもスポーツ教室				
		ウ 「釧路湿原マラソン」など、釧路の季節や自然の魅力を感じられるスポーツイベントを開催します	釧路湿原マラソン	実行委員会（スポーツ課）		
			釧路市体育祭の開催	スポーツ課		
			サイクルスポーツ大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)		
サマーキッズスクール						
ウインターキッズスクール						
阿寒ウルトラオリンピック	阿寒生涯学習課					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
1 生涯スポーツを通じた健康の増進	(1) スポーツ参画人口の拡大	エ 高齢者や障がい者が安心して参加できるスポーツの機会と場の確保に努めます	介護予防指導	各施設指定管理者 (スポーツ課)	
			高齢者サークル指導		
			放課後等デイサービス「スポぼい」		
			インクルーシブキッズフェスタ		
			シニア軽スポーツ教室	音別生涯学習課	
			くしろバラスポフェスタ	障がい福祉課	
			釧路市身体障がい者スポーツ大会		
	オ 運動に関する基礎技術や知識を習得するなど、運動意欲を高める講座や教室を開催します	ミニテニス審判養成講習会	各施設指定管理者 (スポーツ課)		
		ソフトバレーボール審判伝達講習会			
		健康ウォーキング&ストレッチ			
		ママさんバレーボール審判養成講習会			
	(2) 地域スポーツ活動の活性化	あらゆる年齢層が気軽に参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の推進を図り、生涯スポーツによる地域コミュニティの活性化を図ります	総合型地域スポーツクラブの育成	スポーツ課	
			広域スポーツセンター機能の充実		
			総合型地域スポーツクラブの育成（阿寒地区）	各施設指定管理者 (阿寒生涯学習課)	
		地域間や参加者同士の交流を深める取組として、イ 市民親善フロアカーリング大会等の軽スポーツ大会を開催します	市民親善フロアカーリング大会	スポーツ課	
			地域スポーツ大会の開催		
			市長杯パークゴルフ大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)	
			理事長杯争奪ソフトボール大会		
			釧路市スポーツ協会阿寒支部主催事業	阿寒生涯学習課	
			軽スポーツ大会	音別生涯学習課	
			ミニバレーボール大会		
親子で参加できる講座や教室、異世代が交流できるイベントの開催など、スポーツへの参加機会の拡充を図ります		親子でヒップホップ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)		
		親子スケート教室			
		ファミリースポーツ交流会	音別生涯学習課		
エ 釧路の気候風土を生かした特色あるスポーツ活動の推進とニュースポーツの普及・開発に努めます		ニュースポーツの普及・開発	スポーツ課		
	市長杯長靴アイスホッケーチャンピオンズカップ大会	各施設指定管理者 (スポーツ課)			
	カーリング大会				
	子どもカーリング教室	音別生涯学習課			

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント
1 生涯スポーツを通じた健康の増進	(3) 健康維持と体力向上の取組	ア 体力測定の実施など、市民が日常生活習慣をふりかえられる機会の拡充を図ります	軽スポーツエンジョイ教室	各施設指定管理者 (スポーツ課)	○市民が生涯を通して健康な生活を送れるようにするための事業であると考え、それぞれの事業に参加した人にとっては、健康や体力向上の意識をもって活動し、有意義な活動になっていると考え、「施策の方向」は達成されていると判断する。内容や広報活動を工夫して参加者が増え、健康な市民が増えることを期待する。 ○社会体育指導員が継続的に指導・育成してきた健康体操サークルの活動は、高齢の女性も多く、成果を残している。また、パークゴルフ施設の充実やパークゴルフ協会をはじめ、サークルの育成は高齢者の体力の向上に多くの成果を残してきている。高齢者の体力測定は、スポーツ推進委員会を中心とする継続した場の設定が望まれる。 ○スポーツ振興財団をはじめ、関係施設管理者が工夫し実施している講座や教室等の充実は、各年齢層の体力向上と健康維持に大きな成果を残している。 ○できれば身近なところでも継続的に参加できる教室の開催と、各種スポーツ団体が開催している教室等との連携を図るとともに、開催情報が総合的に聞ける場や調べることができる場の設定があると、日ごろスポーツができない・しない方も気軽に参加するようになるのではないかと。
			健康ウォーキング&ストレッチ		
			生活習慣に関する調査および運動実践事業		
		イ 誰もが気軽に参加できる基礎的な運動講座・教室等を開催するなど、健康維持と体力向上の取組を進めます	しなやかボディラティス	各施設指定管理者 (スポーツ課)	
			やさしいフラダンス		
			リラックスヨーガ		
			ナイトヨーガ1部・2部		
			楽々!健康体操		
			小学生アスレチック教室		
			かけっこ教室		
			スタイルアップレッスン「骨盤美人」		
			健康ストレッチ		
			親子あそび		
			水泳プログラム		
			水中健康ウォーキングプログラム		
			いきいき元気アップ教室		
			Step美Body～Step台で楽しくシェイプアップ～		
			体幹ピラティス		
			バレトン		
			背骨コンディショニング		
スローエアロビク					
柳町スケートフェス					
ミニテニス教室					
社会教育委員のコメント	○今後とも、運動機能を高め、スポーツの楽しさや健康であることを実感できる、年代にあった運動機会の提供が望まれる。 ○生涯スポーツの推進は、生涯スポーツの入口といわれる幼児期や小中学校の時期にどれだけスポーツに関わるかにかかっていると思うが、これからも各種教室の開催や各種年齢にあわせ、サークルの育成を図る取組を積極的に推進していただきたい。				

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント	
2 競技スポーツの振興	(1) 競技力の向上	全道・全国・国際大会で活躍する選手を育成するため、トップアスリート等から専門的指導を受けられる環境を整えます	JFAなでしこひろば	各施設指定管理者 (スポーツ課)	○児童・生徒を対象とした各種ｽｰｯ競技大会等は、選手の競技力の向上とともに、ｽｰｯへの意欲向上にもつながる意義ある事業で成果を上げており、今後とも各競技団体とも連携し継続してほしい。 ○競技力向上の基本は、幼児を含め小中高生が日常的にｽｰｯをする環境が身近にあること、ｽｰｯが大好きな子どもをどれだけ増やすことができるかであり、今後も取組を進めてほしい。	
			スピードスケートスクール			
	ミニテニス技術講習会					
	全道・全国・国際大会で活躍する選手を育成するため、地元選手がレベルの高いスポーツに接することができるよう、各競技の大会を積極的に開催します	全日本少年アイスホッケー大会(中学生・男子の部)	実行委員会(スポーツ課)	全道・全国・国際大会で活躍する選手を育成するため、地元選手がレベルの高いスポーツに接することができるよう、各競技の大会を積極的に開催します	各施設指定管理者 (スポーツ課)	○学校や近隣のｽｰｯ施設において、放課後や休日に誰もがｽｰｯ活動ができる場を増やし、ｽｰｯを大好きな子どもを増やすことが競技力向上につながるだけではなく、生涯ｽｰｯ振興の第一歩だと考える。 ○トップアスリートによるｽｰｯ教室等は、少年団や競技団体と連携を図りながら進める必要がある。 ○ｽｰｯ振興財団を中心とする各種ｽｰｯ大会の開催は、日頃のｽｰｯ活動の成果を出す場として、ｽｰｯ協会や競技団体等と連携を図ることによる更なる充実を期待する。 ○全道・全国大会への参加は、地元の競技力向上に寄与するものであり、個々の選手の負担を減らすため、大会参加助成の充実を図る必要がある。 ○各種ｽｰｯ賞の表彰は、ｽｰｯ競技者や指導者の励みになるものであり、今後もｽｰｯ振興のための充実を期待する。
				理事長杯U-10フットサルフェスティバル		
				市長杯少年柔道大会		
				理事長杯全道ミニテニスフェスティバル		
				理事長杯釧路地区小学生バレーボール大会		
				理事長杯U-10ミニバスケットボール大会		
				釧路小学生陸上競技大会兼北海道小学生陸上競技記録会		
釧路市少年剣道大会						
(2) スポーツ少年団の活性化	誰もが楽しく取り組める新たな種目の導入や活動プログラムの開発等スポーツのすそ野拡大の取組に努め、スポーツ少年団や団員を増やす取組を進めます	スポーツ少年団への加入促進	冬の子どもスポーツフェスティバル	阿寒生涯学習課	○ｽｰｯ少年団は、地域の児童・生徒のｽｰｯ活動を支える組織として、優れた指導者の確保や団員の交流を深める諸活動等を通して団の活性化に努めており評価する。 ○ｽｰｯ少年団は、1964年の東京オリンピックを契機に、青少年ｽｰｯの普及育成を目的に設立されたｽｰｯ団体であり、釧路市ｽｰｯ少年団も管内のｽｰｯ少年団と連携を図りながら、指導者やリーダーの育成、交流会、体力テスト等の活動を継続しており、さらに、学校と連携しながら青少年のｽｰｯ活動の輪を広げてきた。また、ｽｰｯを通して青少年の心と体の成長と、釧路市の競技力向上に大きな成果を残してきた。今後は、青少年ｽｰｯ活動の一貫指導と育成を図るため、未加入の新たな競技種目同好会等の加入を促進し、行政はもちろん、指導者や母集団、競技団体が連携しながら新たなｽｰｯの普及を進める必要がある。 ○中学校部活動の地域移行の方向性は、教職員の負担を減らすという考えもあるが、先生方による指導や学校の支援なくしての青少年ｽｰｯの育成は簡単ではない。行政も含め、ｽｰｯ協会や少年団、学校、教育委員会を中心に、これらを緊急課題として進める必要があるが、まずは、子どもたちの身近な活動の場を減らさないよう全力で取り組むとともに、ｽｰｯのみならず青少年の健全育成の充実のため、教職員定数の大幅増の取組みで先生の負担を減らし、希望者がｽｰｯ活動の指導者として活動できる環境づくりも大切と考える。	
			釧路市スポーツ少年団スポーツ交流会	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)		
			釧路市・釧路管内スポーツ少年団ジュニアリーダースクール			
			日独スポーツ少年団同時交流派遣			
			少年団種目別交流大会			
スポーツ少年団団体力テスト会	スポーツ少年団 (音別生涯学習課)					
スポーツ少年団宿泊研修交流会						
(3) 競技スポーツ活動への支援	全道・全国・国際大会やスポーツ合宿を積極的に誘致し、地域スポーツの活性化を図ります	各種大会の誘致活動	合宿誘致活動	スポーツ課	○大会や合宿の誘致は、地元選手の競技力向上に果たす役割は大きい。また、派遣・開催助成は、出場者や開催団体にとって大きな支えとなり、ｽｰｯを振興するうえで大変意義深いものである。 ○ｽｰｯ合宿が年々増えて喜ばしいことではあるが、青少年や地域ｽｰｯの活性化にどう生かされているかの検証も必要である。 ○大会派遣助成は、子どもたちが日ごろの成果を発表する場へ参加できるよう支援するという意味では、今後も助成の継続と拡充が望まれる。	
			全道・全国大会等派遣助成	スポーツ課		
			全道・全国大会等開催助成			
競技団体スポーツ講習会開催助成	全道・全国・国際大会への派遣や地元開催の同大会への助成、各種競技団体による研修会等への助成など、スポーツ振興のための支援を行います	競技団体スポーツ講習会開催助成				
社会教育委員のコメント	<p>○競技ｽｰｯの振興には、優れた指導者と目標となる選手の存在は大きい。また、ｽｰｯ競技への市民の理解と支援が力となる。</p> <p>○オリンピックのメダリストや全道・全国大会で活躍しているｽｰｯ選手の多くは、学校や地域を中心としたｽｰｯ少年団や中学高校の部活動で育った。ｽｰｯ庁から提言された中学校の地域移行の考え方とともに、学校の支援や先生方の関わりがなくなると、質の高い指導者が大幅に減少し、10年後、20年後には日本のｽｰｯ人口は大幅に減少するようになる気がする。行政はもちろん、ｽｰｯ団体、学校等が青少年ｽｰｯをどのように育成していくか、或いは、活動の場をどのように確保していくかを緊急の課題として取組む必要がある。</p> <p>○今般、ｽｰｯ振興に係る各種提言が出されているが、釧路市のｽｰｯ行政も含めて、方向性を間違えず、釧路市のみならず全国的な競技力の低下とｽｰｯ人口の大幅な減少を招くのではないかと危惧している。</p>					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント	
3 スポーツ振興のための基盤整備	(1) スポーツ施設の充実	スポーツ施設の長寿命化に向けた計画的な整備やルール変更等に準じた備品の更新など、安全・安心で快適に利用できる施設の充実に努めます	柳町アイスホッケー場の整備	スポーツ課	○各施設の整備が、計画的に進められ有効に活用されている。また、ｽﾎｰｯ設備品の更新や市民のニーズに沿った設備の整備が行われ「施策の方向」が達成されていると考えるが、今後とも、市民が利用しやすい施設の充実に努めていただきたい。 ○現在の多くの施設は釧路市のｽﾎｰｯ振興に欠くことのできないものであり、ｽﾎｰｯ設備の充実等によるｽﾎｰｯ振興の取組みは多くの成果を残してきたと考えている。 ○ｽﾎｰｯ施設の充実と活用は、ｽﾎｰｯ活動の普及振興を図るための大切な条件である。施設の整備や新たな施設を作るとは財源が必要となり大変であるが、例えば、陸上競技場の芝生のワイルドを陸上とサッカー等に多目的に活用できる施設として有効活用する。或いは、大規模運動公園の中に芝生と人工芝の多目的広場を作るなど、幅広い整備と活用が考えられる。 ○アイスホッケー場等の施設の一部を、夏の機会に多目的に利用するなど、有効活用も必要である。野球場の人工芝の多目的な利用等も有効活用の一つである。 ○学校体育施設は、少年団や中学・高校生のｽﾎｰｯ部活動の場として、青少年のｽﾎｰｯ振興に大きな役割を果たしてきた。学校施設利用の対応は先生が行ってきたが、今後、幅広い年齢層が利用できるよう、施設の管理者等を新たに配置するなど、学校が使えないという事態にならないよう対応が必要である。 ○中学校の部活動の地域移行の考え方の中で教職員の負担を減らすということは必要と思うが、先生方がｽﾎｰｯ指導から離れると、放課後の学校施設を活用しにくくなるなどの課題が予想される。ｽﾎｰｯだけでなく、文化活動において施設の利用の幅が少なくなるように思われる。学校施設の有効活用と先生方を含めた指導者の養成・確保は釧路市のｽﾎｰｯ振興にとって喫緊の課題である。行政やｽﾎｰｯ関係者が新たな発想での対応と思い切った取組が必要である。	
			スポーツ施設における煙突用断熱材（アスベスト）調査			
			鳥取温水プールの整備			
			パークゴルフ場の整備			
			釧路アイスアリーナの整備			
			釧路市民陸上競技場の整備			
			キャッシュレス環境の整備（施設使用料）			
			キャッシュレス環境の整備（学校スポーツ開放）			
			釧路市民球場の整備			
			音別町運動施設の整備			音別生涯学習課
			地域におけるスポーツ活動の拠点として、小中学校の体育館・グラウンドの有効活用や近隣自治体との連携による施設利用の促進を図ります			学校体育施設の開放
		学校体育施設の開放（阿寒地区）	阿寒生涯学習課			
	施設利用者等の安全と人命を確保するため、不測の事態に備え、迅速で的確な救急体制と受け入れ態勢の向上に努めます	(スポーツ施設指導員対象)救命救急法講習会の実施	スポーツ課			
		スポーツ施設におけるAEDの整備	阿寒生涯学習課			
	(2) スポーツ活動を支える人材の確保	ア 地域でのスポーツ活動の推進や学校での部活動を支援するための指導者の確保・育成を図ります	地域スポーツリーダーの養成	スポーツ課	○地域のｽﾎｰｯ活動を推進するｽﾎｰｯリーダーの確保や育成するための研修会・講習会がなされているが、学校部活動の地域移行も踏まえ、推進するｽﾎｰｯリーダーや指導者の確保をしての体制づくりが必要となると考える。 ○釧路市のｽﾎｰｯリーダー（旧釧路市スポーツ推進員）や地域ｽﾎｰｯ推進委員（旧体育指導委員）は、学校の地域開放の充実を含め、地域のｽﾎｰｯ活動推進に大きな役割を果たしてきた。今後も、新たなｽﾎｰｯリーダーの養成を行う必要がある。また、学校部活動の関わりでは、十分に学校教育と連携を図る必要がある。 ○大人になってもｽﾎｰｯを続けている人の多くは、学校体育だけではなく、ｽﾎｰｯ少年団や部活動を経験していると聞くが、それらを支える指導者の質と量を増やす必要がある。 ○釧路市の青少年ｽﾎｰｯ活動の中心的な役割を果たしてきたのは学校の先生方でもあり、中学校部活動の地域移行を進める上で生じる課題として、ｽﾎｰｯ指導者の大幅な不足が予想される。地域が部活動の子どもたちを受け入れるには、その環境の基盤づくりは簡単にはいかないと思われるが、学校としてどのような支援ができるのかを、教育委員会各部署が連携を図り進める必要がある。 ○ｽﾎｰｯ推進委員は、釧路市のｽﾎｰｯ振興の方向性を示す立場として大きな役割を果たしてきた。今後も更なる活動の充実を期待したい。 ○釧路市ｽﾎｰｯ少年団では、毎年、指導者等研修会を実施し、継続的な指導者養成に努めてきた。今後もｽﾎｰｯ少年団の活動の充実を図るため、ｽﾎｰｯ協会加盟の競技団体とともに、継続した指導者養成を図る必要がある。	
			地域スポーツリーダー研修会			
			釧路市地域スポーツリーダー協議会			
			スポーツ指導員「リーダーバンク」の養成と確保・活用			
			市民協働型事業			
イ 学校の運動部活動の地域移行を見すえ、子どものスポーツ活動を支えるため、スポーツ環境の充実に向けた学校とスポーツ団体等による体制の構築を図ります		学校部活動の環境整備	スポーツ課 教育支援課			
ウ 適正なスポーツ倫理を身に付けた専門的指導者を養成するため、関係団体と連携し、各種研修会や講演会等の開催を促進します		スポーツ推進委員協議会	スポーツ課			
		スポーツ少年団指導者協議会運営委員会	釧路市スポーツ協会 (スポーツ課)			
	スポーツ少年団・母集団交流研修会					
	スポーツ少年団母集団・指導者研修会					
	スポーツリーダー養成講習会、スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会					

基本方針	施策の方向	具体的な施策	各事業名	主管課	「施策の方向」に対する社会教育委員のコメント		
3 スポーツ振興のための基盤整備	スポーツに関する(3)る情報提供の充実	各種施設の利用状況や講座・イベントの最新情報を、「広報くしろ」やホームページ、SNS等で分かりやすく発信します	「広報くしろ」による講座・イベント等の情報提供	スポーツ課	<p>○ホームページや広報誌など、多様な方法での情報発信が行われており、多くの市民が情報を受け取ることができるようになってきている。さらに内容を工夫し、市民がスポーツを行う機会が増えることを期待したい。</p> <p>○行政、学校、スポーツ協会、スポーツ少年団やスポーツ振興財団等からのスポーツ情報を受けた市民の多くが、それぞれの年齢や興味に合わせて講座やイベントに参加してきた。今後もインターネットで気軽にスポーツ情報が得られる発信の充実が望まれる。</p> <p>○教育委員会内に、情報提供を専門とする部署或いは担当者があると、充実した情報提供ができるのではないか。その中に、広報くしろ等の紙面情報も閲覧できるようになれば幅広い情報提供のツールになると考える。</p> <p>○スポーツ相談体制の充実、これからスポーツ人口増の取組の中でも重要な取組の一つである。スポーツ相談サビスは、スポーツ協会やスポーツ少年団、競技団体ごと、釧路市全体としてはスポーツ担当職員、社会教育主事や社会体育主事が対応してきた。今後は、中学校部活動の地域移行の対応も含め、小中高校生や幼児、成人に至るまで、スポーツの情報や相談体制が充実するよう、市の関係各課、スポーツ協会、各競技団体、少年団等が連携した取組が必要である。</p>		
			「市P連だより」による講座・イベント等の情報提供			ホームページによる施設等の情報公開①	各施設指定管理者(スポーツ課)
			ホームページによる施設等の情報公開②			ホームページによる施設等の情報公開③	
			スポーツ振興財団機関誌「YELL」の発行	スポーツ相談サービス		スポーツ課 釧路市スポーツ協会	
			年齢や体力、健康状態に応じたスポーツ医・科学に基づき、安全かつ効果的な運動方法等の情報提供や各種運動に関する相談体制の充実に努めます	スポーツ相談サービス		スポーツ課 釧路市スポーツ協会	
		社会教育委員のコメント	<p>○スポーツ活動を支える土、モノの充実と、情報共有がスポーツ人口の拡大や競技力の向上につながる。更なる基盤整備を期待したい。</p> <p>○今後は、中学校部活動の地域移行の対応も含め、小中高校生や幼児、成人に至るまで、スポーツの情報や相談体制が充実するよう、市の関係各課やスポーツ協会、各競技団体・少年団等が連携した取組が必要である。</p>				